



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 株式会社 イントランス  
 コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 麻生 正紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部部長 (氏名) 濱谷 雄二

TEL 03-6803-8100

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,673	26.4	132	79.2	112	79.2	74	79.8
29年3月期第2四半期	2,274	110.5	638	21.6	542	6.5	368	6.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 74百万円 (79.8%) 29年3月期第2四半期 368百万円 (6.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	2.01	
29年3月期第2四半期	9.95	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	6,599	3,104	47.0
29年3月期	7,247	3,104	42.8

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,104百万円 29年3月期 3,104百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	8.9	470	17.5	350	23.9	230	19.2	6.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	37,131,000 株	29年3月期	37,131,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	60,400 株	29年3月期	60,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	37,070,600 株	29年3月期2Q	37,070,600 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢が改善し、企業の設備投資も持ち直しの動きがみられ、企業収益も改善しております。また景気の先行きも各種政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかに回復していくことが期待されております。しかしながら、米国政権の政策動向や北東アジア情勢を巡る地政学的リスクの高まりには留意する必要があります。

当社グループの属する不動産業界におきましては、日銀によるマイナス金利政策が継続されるなどの資金調達環境を背景に、不動産市場への資金流入が続いており、国内外の投資家による不動産投資需要は引き続き良好な状態が続くと見られております。

このような状況下、当社グループでは、取得した商業ビル・オフィスビル等をエリアの特性やニーズに合わせたバリエーションアッププランを策定し、不動産がもつ潜在的な価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス(物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス)及び売買仲介等のコンサルティングサービスを行うソリューション事業、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン(以下、大多喜ハーブガーデン)にて、ハーブガーデンの運営・企画を行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,673,705千円(前年同四半期比26.4%減)、営業利益は132,794千円(前年同四半期比79.2%減)、経常利益は112,754千円(前年同四半期比79.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は74,612千円(前年同四半期比79.8%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業につきましては、平成28年4月に横浜の観光スポットである山下公園近くに立地する稼働率の低いビルを取得し権利関係の調整等を行い、平成29年9月に事業開発用地として売却いたしました。

この結果、売上高は1,301,175千円(前年同四半期比32.5%減)、セグメント利益(営業利益)は201,628千円(前年同四半期比72.9%減)となりました。

#### (ソリューション事業)

安定的な収益を生み出すソリューション事業につきましては、プロパティマネジメントサービス事業において管理棟数が減少したものの、賃貸管理事業において蓮田ショッピングセンターの賃料収入及び和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入が大きく貢献しました。

この結果、売上高は271,921千円(前年同四半期比7.2%増)、セグメント利益(営業利益)は102,344千円(前年同四半期比1.8%増)となりました。

#### (その他)

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンは房総エリアにおける観光スポットとしてメディアによる宣伝効果により来場者数が増加し、さらに平均顧客単価が上昇しました。

この結果、売上高は109,766千円(前年同四半期比13.0%増)、セグメント利益(営業利益)は2,973千円(前年同四半期は3,354千円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ285,107千円減少し5,928,493千円となりました。これは主として、現金及び預金が706,757千円増加しましたが、営業投資有価証券が123,779千円減少したこと及び販売用不動産が829,092千円減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ363,031千円減少し670,827千円となりました。これは主として、投資その他の資産が359,058千円減少したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ648,139千円減少し6,599,320千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末と比べ648,609千円減少し3,494,368千円となりました。これは主として、販売用不動産の売却等に伴う借入金820,550千円の返済があったこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ471千円増加し、3,104,952千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,215,137	1,921,894
売掛金	68,197	70,441
営業投資有価証券	123,779	—
営業出資金	400,000	400,000
販売用不動産	4,068,156	3,239,064
その他のたな卸資産	13,709	15,021
その他	324,620	282,070
流動資産合計	6,213,600	5,928,493
固定資産		
有形固定資産	31,782	27,810
無形固定資産		
契約関連無形資産	609,383	609,383
その他	128	128
無形固定資産合計	609,511	609,511
投資その他の資産	392,563	33,505
固定資産合計	1,033,858	670,827
資産合計	7,247,459	6,599,320
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,036	6,590
短期借入金	55,000	61,000
1年内返済予定の長期借入金	793,050	432,750
未払法人税等	56,857	42,896
賞与引当金	7,157	6,887
その他	514,110	609,869
流動負債合計	1,432,212	1,159,993
固定負債		
長期借入金	2,700,625	2,334,375
その他	10,140	—
固定負債合計	2,710,765	2,334,375
負債合計	4,142,977	3,494,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	1,070,547	1,071,019
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	3,104,481	3,104,952
純資産合計	3,104,481	3,104,952
負債純資産合計	7,247,459	6,599,320

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,274,652	1,673,705
売上原価	1,263,806	1,065,686
売上総利益	1,010,845	608,018
販売費及び一般管理費	372,532	475,224
営業利益	638,313	132,794
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	4,532
持分法による投資利益	—	6,001
その他	37	831
営業外収益合計	45	11,365
営業外費用		
支払利息	21,858	29,384
資金調達費用	66,506	2,020
持分法による投資損失	7,531	—
その他	29	—
営業外費用合計	95,925	31,404
経常利益	542,433	112,754
税金等調整前四半期純利益	542,433	112,754
法人税等	173,670	38,142
四半期純利益	368,762	74,612
親会社株主に帰属する四半期純利益	368,762	74,612

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	368,762	74,612
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	368,762	74,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	368,762	74,612
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	542,433	112,754
減価償却費	4,117	3,972
のれん償却額	6,142	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,276	△270
受取利息及び受取配当金	△8	△4,532
支払利息	21,858	29,384
資金調達費用	66,506	2,020
持分法による投資損益(△は益)	7,531	△6,001
売上債権の増減額(△は増加)	2,375	△2,244
前渡金の増減額(△は増加)	82,610	—
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△5,401	123,779
営業出資金の増減額(△は増加)	670,000	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,340,879	827,778
前受金の増減額(△は減少)	△1,315	△1,158
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	5,390	△4,466
その他の資産の増減額(△は増加)	△107,549	31,872
その他の負債の増減額(△は減少)	△18,350	3,785
小計	△66,817	1,116,675
利息及び配当金の受取額	8	4,532
利息の支払額	△21,460	△29,421
法人税等の支払額	△58,517	△46,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	△146,786	1,045,067
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,867	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	97,865
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△751,204	—
貸付けによる支出	△8,477	△62,877
その他	—	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△764,549	35,487
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	90,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△642,500	△94,000
長期借入れによる収入	2,260,000	424,160
長期借入金の返済による支出	△35,964	△726,550
リース債務の返済による支出	△1,702	△1,736
手数料の支払額	△66,506	△2,020
配当金の支払額	△73,740	△73,651
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,529,586	△373,798
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	618,250	706,756
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,769	1,215,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,751,020	1,921,894

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,928,686	253,652	2,182,338	92,314	—	2,274,652
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	4,786	△4,786	—
計	1,928,686	253,652	2,182,338	97,100	△4,786	2,274,652
セグメント利益又は 損失(△)	744,171	100,533	844,705	△3,354	△203,037	638,313

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△203,037千円には、セグメント間取引消去△4,786千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△198,251千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	計 (注)3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,301,175	271,921	1,573,096	100,608	—	1,673,705
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	9,157	△9,157	—
計	1,301,175	271,921	1,573,096	109,766	△9,157	1,673,705
セグメント利益	201,628	102,344	303,973	2,973	△174,153	132,794

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。

2. セグメント利益の調整額△174,153千円には、セグメント間取引消去△9,157千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△164,995千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。